

# 平成 30 年度福島県子どもの心のケア事業 専門職派遣事例紹介

～「リフレッシュママクラス」への託児スタッフの派遣～

機関名：二本松市

## □専門職派遣を活用した事業

〈リフレッシュママクラス〉

参加者の思いを受け止め、心を開放して夢や自分の大切なものを話していただくことを通して、その人が本来持っている力を取り戻すことをもって、母親たちのエンパワメントを高め、自己決定能力を支えていく教室です。

## □専門職種と派遣申込理由

〈託児スタッフ〉

子どもの声（泣き声）が聞こえると瞬時に母親に戻ってしまい、開きはじめて心が閉じてしまうことがあるため、教室では、母親である前に一人の女性、人間として参加していただくことに重きをおいて開催できるよう、教室と託児とは別施設（会場）で実施するために申し込みしました。

## □専門職派遣による効果

子どもが泣いてもママクラスの教室に連れていかないことへの託児スタッフの理解も得られており、こうした託児スタッフの協力により、この教室に参加した時間だけは、一人の女性（人間）として自分を見つめ直したり、自分のこれからの生き方を考える素敵な時間ができたなどの感想もありました。また、子どもと少し離れて、自分だけのために時間を使うことが決して悪いことではないなどの気づきになったとの声もありました。

## □今後の市町村事業と専門職について

このママクラスに参加した時が母子分離の初回経験という方が多く、母子分離不安を感じる方もいます。一方で、専門家である託児スタッフから子どもの育ちを肯定されるなど、母自身が感じられていない子どもの良さを他者から認めもらえることで母親の育児に対する自信や自己肯定感の高まりにもつながっていると思います。

また、このママクラスに参加した母親たちによる自主活動への広がりも見られることから、今後も母子分離形式で開催し、安心してお子さんを預けることができる専門的知識をもった託児スタッフの協力を得ながら、本事業を継続して開催していきたいと考えています。

